

活動方針

NPO法人日本ビーチ文化振興協会では、人が海辺と共存することで生まれる「賑わい空間の創出」を目的に、ビーチスポーツの普及、海辺の安全教室、青少年育成、はだしによる健康増進などを通して、地域の活性化を推進しています。活動している中、年々深刻になる海辺の浸食やゴミ問題に「島国日本の大切な海辺、通年集える環境を創ろう！」という志から、ビーチ・マリンを使用するアスリートを中心に、2008年より「海辺環境保全活動」をスタートしました。

活動の一環として、

<「ビーチライフ」の推進>

室内で過ごしエアコンや電気を使うことで排出されるCO²が、屋外ビーチで過ごすことによってCO²の削減につながる。青少年育成に取り込み、次世代に繋がる啓発を促進する。

<海辺環境美化活動>

海洋汚染、プラスチックゴミ問題などを学び、次世代を担う子どもの環境理解の促進につなげる。また、安心した海水浴が楽しめるように、生物の生態系向上と水質浄化が期待できる「竹ひび1人1本活動」を推進する。

<「海辺の安全教室」普及／防災・避難場所の啓発>

事故を未然に防ぐことを目的とし、海辺の正しい知識や命の大切さを指導する。防災のために避難場所のPRを常に心がける。

海辺で活動する団体の使命として、次世代によりよい海辺環境を引き継ぐために活動をしています。



ビーチバレーボール一般大会



全国各地でビーチクリーンを実施



遊佐雅美の海辺の安全教室

3つのアクション

アクション③ 育てよう！

自然環境の保全・再生、
ビーチ・マリンスポーツ
などによる海辺の利用について
現代の暮らしの習慣となるよう、
海辺を活用した地域を育てよう。



アクション② 創ろう！

山・陸・海に関わる団体と連携して
ネットワーク構築を図り、新たな視点から
双方の活性化を創る。
例：「みちのく潮風トレイル メッセージアート展」



アクション① 守ろう！

日常生活のゴミがやがて海に流れつき、海の環境破壊に繋がることの理解を
深めるため、イベントを通して参加者と『ビーチクリーン・ゴミの分別』を実施する。

【ゴミを捨てない、ゴミを出さない】

泳げる海を目指し、海洋環境を豊かにするため『竹ひび設置』の推進を行う。

【竹ひび1人1本活動】



<2022 年啓発ポスター>



PROJECT PARTNER 2021 関西



<2021 年啓発ポスター>

海辺環境事業



ブルービーチプロジェクト
BLUE BEACH PROJECT

海辺を利用・保全し、自然と共生している自治体・スポーツアスリート・協力団体と共に、貴重な空間を良好な状態で次世代に継承していくため活動しています。

「ビーチライフ」の推進
「ビーチクリーン」による環境美化活動
「水辺の安全検査」の普及

